

令和元年 9 月 9 日

中学 3 年生 保護者 様

多治見市教育研究所

## 平成 31 年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査の結果等について

小学 6 年生と中学 3 年生を対象としたみだしの調査が、4 月 18 日に実施されました。各学校におきましては、現在、調査結果の分析・検証を進めており、今後、自校の課題を踏まえた指導の改善に一層取り組んでいくところです。

つきましては、多治見市全体の調査結果等をお知らせしますので、お子さんの学習習慣や生活習慣を見つめ直す際の参考として活用いただきますようお願いいたします。

### 1 学力調査の結果より

調査を行った教科全て「国語、数学、英語」の平均正答率については、国・県の値とほぼ同等もしくはやや上回っています。

また、各調査結果から今後付けたい力として、以下のことを挙げる可以做到。

- |  |
|--|
| <p>【国語】話し合いの話題や方向を捉えて、自分の考えをもって話し合いをすること</p> <p>【数学】数学で学んだ用語について、意味を理解したり例を示しながら説明したりすること<br/>根拠を明確にして、式や言葉を用いて説明すること</p> <p>【英語】日常的な話題について、情報を正確に聞き取ること</p> |
|--|

ご家庭では、学校から配付される個人票を参考に、正答数（率）だけでなく、誤答の自己分析から明らかになった課題に対して、今後努力することや気を付けていくことを、お子さん自身が自己決定できるようなふり返りとなるようお声がけをお願いします。

### 2 質問紙調査の結果より

質問紙調査において国や県の傾向とは異なった結果（上下に 1 ポイント以上の差があった問い）から主なものをまとめると、以下のようなことがいえます。

#### <学習習慣>

- ・一日の学習時間は国・県の結果を上回っており、自分で計画を立てて勉強することができる傾向にあります。
- ・学校や地域の図書館を使用する人の割合や一日の読書時間は国・県の結果を上回っており、良く読書に取り組んでいる傾向があります。
- ・仲間同士で話し合う活動から、考えを深めたり広げたりすることができている傾向があります。

#### <生活習慣>

- ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがやや少なく、地域行事への参加については県の結果を大きく下回っています。

本調査からも、家庭や学校での学習習慣・生活習慣が学力にも大きく関わっていることは明らかであり、『習慣』は、意識して努力を続けることにより必ず改善できます。

家庭と学校が協力し、子どもが望ましい習慣を身に付け、将来の自立や個性豊かな自己実現に向かっていくことができるよう、今後ご理解とご協力をお願いいたします。